

知らなかった! 

おなかのなかの 赤ちゃん 図鑑

監修 増崎英明 (佐世保市総合医療センター 理事長・院長)

編著 WILL こども知育研究所



もくじ

みんな、たったひとつの細胞だった！ 4

1日目 生命のはじまり 6

1日目 精子と卵子がひとつに 8

コラム Q 子どもが親に似るのはなぜ？ 10

2~3週 受精卵の育ち 12

2~3週 子宮を目指す受精卵 14

2~3週 子宮にたどりついた！ 16

2~3週 子宮の中で成長をはじめ 18

2か月 脳ができはじめる 20

コラム Q 顔って、どんなふうに見えるの？ 22

2か月 心臓が動きはじめた！ 24

2か月 手足ができて動けるように 26

2か月 あらゆる臓器ができていく 28

コラム Q お母さんの行動、赤ちゃんに影響ある？ 30

3か月 男女の差が見てわかるように 32

3か月 おなかの中で運動する 34

コラム Q 赤ちゃんができたなら、どんな検査をするの？ 36

4か月 羊水を飲んでおしっこをする 38

4か月 お母さんから栄養をもらう 40



4か月 皮ふや毛が育っていく 42

コラム Q おなかに赤ちゃんがいるときの、お母さんの様子は？ 44

5~7か月 栄養をたくわえる 46

5~7か月 目や耳などが完成に近づく 48

コラム Q 早く生まれてしまったら、どうするの？ 50

8~10か月 病気とたたかう力をもらう 52

8~10か月 生まれる準備が整った！ 54

生まれた！ 56

8~10か月 お母さんと協力して生まれる 58

さあ、あなたの人生を生きていこう 60

さくいん 62



この本の見方

この本では、妊娠週数と、受精日数を表記しています。妊娠週数は最後の月経が始まった日から数えるため、受精日数とはことなります。

妊娠月数・週数

受精日数

8~10 か月(28~39週/182~26日)

Q

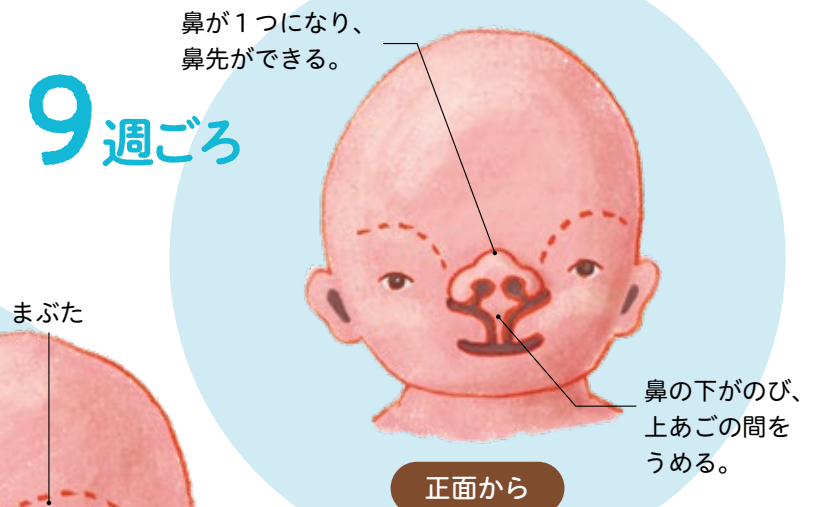
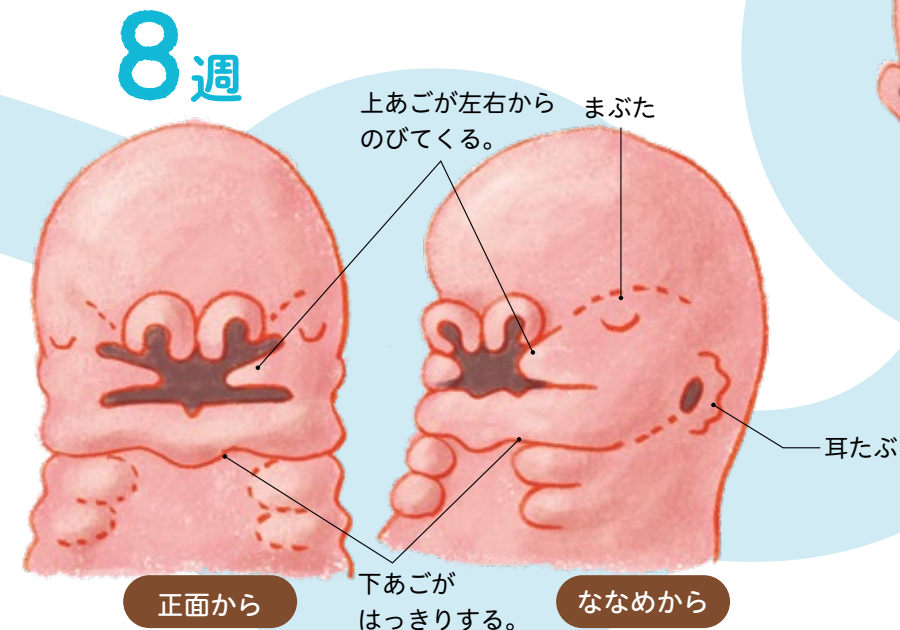
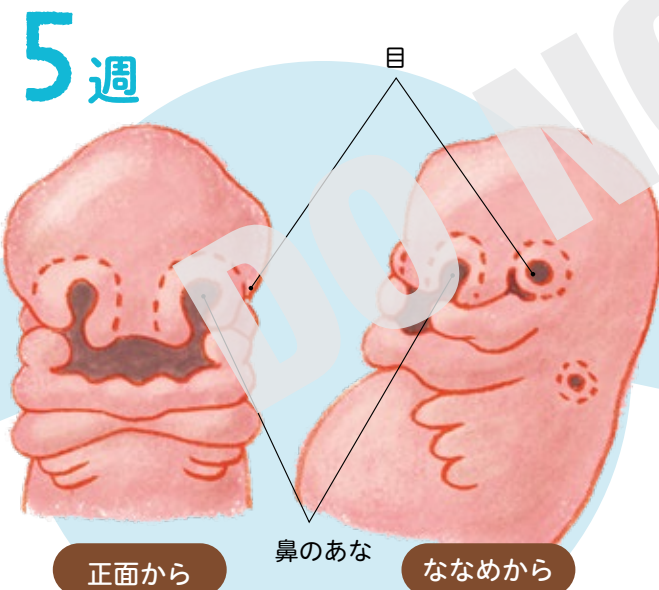
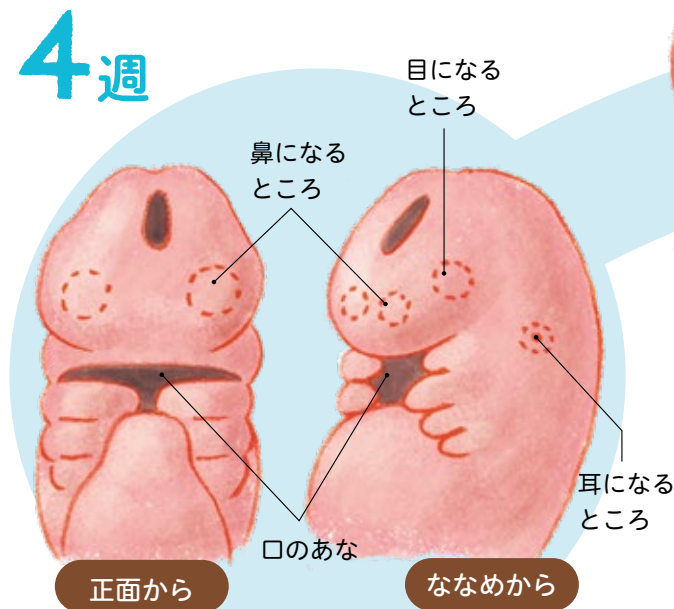
顔って、どんなふうになれるの？

A 目や鼻、耳などができて移動したり、あなが開いたり、つながったりしながら形づくられます。

おなかの中の赤ちゃんは、最初、人とはまったくちがう姿をしています。もちろん、顔もそうです。

最初のうちは、真ん中に口のあなだけがあります。そこから鼻のあながくびれていって、そ

の間をうめるようにまわりから皮ふがのびてきます。このころは、みんな同じような顔をしていて、ほとんど差がありません。おなかの中で成長していくうちに、それぞれ個性が出てきます。



鼻の下の形のなぞ

鼻と口の間には、たてに高くもりあがったところと、みぞがあります。ここを、人中じんちゆうといいます。人中じんちゆうは、顔ができるときのなごりです。上あごの皮ふは、左右からのび、鼻の下からのびた皮ふとつながります。そのため、このような形になるのです。



14週ごろ



男女の差が 見てわかるように

受精から8週目に入ると、赤ちゃんは「胎児」とよばれるようになります。それまではどの赤ちゃんも同じように成長してきましたが、ここからは、それぞれちがいが出てきます。

男の子、女の子のちがいが見た目で見られるのもこのころです。Y染色体(→10ページ)をもつ男の赤ちゃんの体には精巣がつくられます。また10週目になると、いんけい(→6ページ)もつくられはじめます。Y染色体のない女の赤ちゃんは卵巣がつくられます。

妊娠14~15週ごろになると、超音波検査(→37ページ)によって、おなかの外から中の

様子を見ることができるようになります。いんけいのあるなしで、男の子か女の子かがわかるようになります。

キーワード

胎児^[たいじ]

妊娠8週目以降になるとおなかの赤ちゃんは胎芽から胎児とよばれるようになる。胎児の時期になると、おなかの中の環境や、赤ちゃんの個性によって、成長のスピードに差が出てくる。



胎児とよばれるようになったばかりの赤ちゃん。すっかり人間らしい姿をしている。はなれている目はこれから中央によって、親に似た形になる。頭の成長はゆるやかになり、胴や手足がのびていく。

©Science Source/PPS 通信社



男の子の下半身。いんけいができはじめている。すでに精巣はできている。

©SPL/PPS 通信社

栄養をたくわえる

5か月目のおわりごろ、赤ちゃんの体にはほとんどの器官ができています。このころには、細胞分裂のスピードは以前よりゆっくりになり、そのかわりひとつひとつの細胞が大きくなっていきます。へその緒(臍帯)を通して、お母さんからたくさんの栄養をもらって、細胞を育てていく時期です。体重は急速にふえ、骨は固くなり、身長ものびてきます。お母さんのおなか

がはっきりと大きくなるのも、このころです。

うすい皮ふにおおわれているだけだった体には脂肪がつきます。脂肪がついた赤ちゃんは、ふっくらとした見た目になっていきます。体の脂肪は、外のショックから赤ちゃんの内臓を守るほか、熱をつくりだして体を温めることにも必要です。生まれて外の世界に出たときに、赤ちゃんを寒さから守ります。

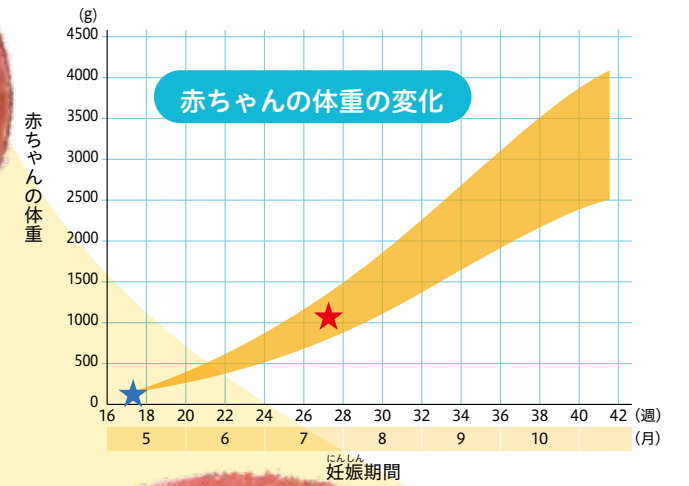
160日ごろ



お母さんからカルシウムをもらって、やわらかかった骨が固くなり、体つきがしっかりしてくる。

100日ごろ

(5か月のはじめ)



出典 / 「推定胎児体重と胎児発育曲線」保健指導マニュアル(平成24年3月) 日本産婦人科学会

実物大

赤ちゃんのデータ
 グレープフルーツ1個分くらいの大きさ
 体重: 100g 前後
 身長: 15cm 前後

180日ごろ

(7か月のおわり)



ハクサイ1個分くらいの大きさ

赤ちゃんのデータ
 体重: 1000g 前後
 身長: 38cm 前後